



国民春闘共闘

第 22 号

2019 年 3 月 15 日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

3.14 全国統一行動（大阪・和歌山・福岡・東京・MIC）

3.14全国統一行動では、全国各地で20万人以上が、賃金大幅引き上げ・底上げ、8時間はたらいたら人間らしく暮らせる社会の実現、安倍9条改憲阻止、消費税増税阻止などの要求をかかげて、終日ストライキ・職場決起集会・宣伝行動などに立ち上がりました。

大阪 3.14総行動にのべ1万人以上



大阪春闘共闘委員会と大阪労連は、2019年国民春闘ヤマ場の最大のとりくみである3.14全国統一行動に結集して「3.14大阪総行動」として、なんば・天王寺の2か所での早朝宣伝を皮切りに流し宣伝カーの運行、ランチタイムデモ(170人)、春闘勝利総決起集会&デモ行進(450人)、大阪労働局への「大阪地方最低賃金審議会委員の公正任命」求める個人請願行動(498筆)など、終日の行動を展開しました。この日は、民間単産のストライキ行動をはじめ、各職場・地域での宣伝・集会・要請や懇談活動・職場集会なども含め、府下全体でのべ1万人以上が行動しました。

和歌山

和歌山県地評では全国統一行動日の3月14日、JR和歌山駅前の早朝宣伝行動(参加40人)、春闘交流決起集会(参加40人)、昼休みデモ(参加60人)を行いました。午後から夕方にかけて、職場決起集会(農労連・連合会労組)、終業時60分スト(全労災和歌山支部)などの支援行動にとりくみました。



福岡

福岡春闘共闘は、18時から博多駅筑紫口で宣伝行動を実施しました。生計費試算調査の結果なども示しながら賃上げ、最低賃金の必要性や働き方改革の問題点を示しながら、ワークルール講座、労働相談を紹介しました。

東京

「三多摩統一ストライキ集会・市街地デモに」150人が参加



主催者を代表して三多摩春闘共闘の芳賀次郎代表委員が、ストライキを含む統一行動に結集し、要求実現をめざしてさらに奮闘することを呼びかけました。全労連・国民春闘共闘の布施恵輔事務局次長は、「8時間働けば人間らしくらせる社会を実現させ、組合から声をあげ地域相場をつくっていこう」と挨拶。

東京春闘共闘の荻原淳代表（東京地評議長）は、「19春闘は始まったばかり、ねばり強くたたかいを

進めよう」とエールを送りました。決意表明で、京王新労組は、「12人が始発から24時間のストライキに突入、労働条件改善で安心して働きつづけられる職場づくりを求める」、東京土建からは、「昨年、大成建設の丸の内の現場から救援の声があがり、劣悪な現場環境の改善へ向け大きなたたかいとなった」、東京医労連・民医労健生会からは、「患者さんにより良い医療をしたい。診療報酬が上らず最賃が置き去りにされている現状に賃上げは絶対必要」、JMITUの超音波工業支部では「40人がストライキに入った。昨年の妥結額に近づくもののベテラン層の賃上げがない。消費税上げるな！賃金上げろ！の声をあげていく」と報告が行われました。デモ行進後、立川駅北口で署名・宣伝行動にとりくみました。

春の北部共同行動集會に160人

東京北部労協と北部春闘共闘の共催。主催者あいさつに立った北部労協小泉議長は、「昨日出された大手回答は到底納得できるものではない」と強調し、「春から様々なものが値上げされる。最賃いますぐ全国一律1000円、生活守る賃上げを勝ち取ろう」とよびかけました。

JMITU 北部地協の菊地議長が「今日は第二次統一闘争として半日から1時間のストライキを打って集會に参加している。現時点では昨年初回回答より若干上回っているだけなので、さらに闘いを強める」と決意表明しました。

JAL 不当解雇撤回争議団の宍戸さんと加藤さんが、「CCUは争議解決と飲酒問題で会社と交渉を続けている。安全のためにも争議の1日も早い解決目指し奮闘する」と述べ、争議支援を訴えました。北部春闘共闘の渡邊議長（東京医労連）が、「私の職場で最低賃金1000円が1015円の回答が出た。これは私たちの



最賃運動の成果だ」と報告。池袋の繁華街をシュプレヒコールをしながらデモ行進しました。シュプレヒコールに、コンビニの前で話していた若者が手を挙げて激励する姿が見られました。

西部労働者共同行動

東京西部地域の労働組合は、一致する要求を掲げて新宿西口で共同宣伝行動を行いました。主催者によると、東京西部地域は、さまざまな要求を持ち寄ったこの共同宣伝行動を20年続けているとのこと。宣伝には全労連、東京春闘西部、新宿区労連、世田谷区労連、渋谷区労連、西部全労協、国労中央支部、新宿地区労センター、JAL争議団、GJ西部連絡会などから40名が参加、「安倍政権退陣」「長時間労働反対！8時間働けばまともに暮らせる賃金を」「大企業は内部留保を使って労働者に大幅賃上げを行え、中小企業の下請け単価に回せ」「原発はいらない、原発の再稼働と輸出反対」「JAL不当解雇撤回」などの要求を訴えました。全労連の伊藤圭一常任幹事が連帯挨拶、「労働組合に入って賃上げと労働条件の改善を勝ち取ろう」と訴えました。



MIC「私たちの知る権利を守る3.14 首相官邸前行動」に600人

日本マスコミ文化情報労組会議・MIC（新聞労連、民放労連、全印総連、出版労連、映演共闘、映演労



連、広告労協、電算労)主催の「私たちの知る権利を守る3.14 首相官邸前行動」に600人が参加しました。菅官房長官の記者会見における東京新聞の特定記者の質問について、「国内外の幅広い層の方々の事実認識を誤らせることにもなりかねず、ひいては、定例会見を行う意義が損なわれるおそれがあるとの問題意識を有している」とする政府答弁書を閣議決定は、「取材の自由」や「知る権利」の侵害ですと現場の沢山の記者から訴えがされました。言論・表見・報道の自由を守るために、首相官邸に市民の「知る権利」を奪う記者弾圧をやめるよう強く求め、表現の自由を守ろう！言論の自由を守ろう！報道の自由を守ろう！民主主義

を守ろう！と抗議のコールを上げ、アピールを採択しました。

**かちとろう 大幅賃金引き上げ、8時間働いて人間らしく暮らせる社会
とめよう 安倍9条改憲、消費税増税
職場と地域からの共同のたたかいで、未来を切り拓こう**